

日曜日礼拝順序

憩いの場

2017年7月9日 午前11時 南部チャペル

“平和をつくる人”

前奏 頌栄	539	三村祥子姉
開会の祈り 主の祈り 交読文	10 詩篇32篇	Scroggins 由紀牧師 一同
賛美歌 祈りの時	3 “あめつちの御神をば”	Scroggins 由紀牧師
聖書拝読	テトスへの手紙2章11-15節	荒井久和子姉
賛美歌	183 “主のみたま くだりまし”	
説教	“祝福にみちた望み”	Scroggins 由紀牧師
賛美歌	332 “主はいのちを あたえませり”	
献金 報告 頌栄 祝祷 後奏	541	下竹祐三郎兄 Scroggins 由紀牧師 三村祥子姉
(礼拝終了:奉仕開始)		

交わりの時	礼拝後	南部チャペル
-------	-----	--------

“平和をつくり出すひとたちは、さいわいである。彼らは神の子と呼ばれるであろう。”(マタイによる福音書5章9節)

1960年代、70年代のドラマや映画を見ると、懐かしさと同時に、他人を殴るという行為がいつも簡単にされていたことに違和感を覚えます。今なら確実にドメスティックバイオレンスの部類に入る行為、訴えられるであろう行為も当たり前のようにされていた時代があったのです。同じころですが、私が小学生のとき、女の先生が喧嘩をしていた生徒たちに外で決闘して決着をつけなさい、と行って実際に外に出したことがあります。西部劇ではあるまいし、冗談かと思ったら本気だったのですが、この先生はその後もなく辞任しました。そして次に穏やかな先生が来てからクラスの雰囲気平和的に変わったことを思うと、上に立つ人の資質は大変重要と思います。最近、アメリカの現大統領のツイッターで彼がCNNを殴っている動画が拡散されましたが、このところ、時代を逆行させようとする動きが大きくなりつつあるのでしょうか。このような傾向に染まらないために、聖書のみ言葉は日々欠かせません。

主イエスは平和をつくり出す人たちは、さいわいである、と言われました。彼らは神の子と呼ばれるであろう。つまり、自ら平和に貢献する人たちは、神とつながる光栄、大きなさいわいが与えられます。それは昨今勢いづいている暴力を称賛する傾向とは逆の方向です。時代がどうであれ、私たちは神の真理に基づいて、暴力の代わりに、平和をつくる道、幸いな道を歩めますように。私たちがご聖霊のお力により、導かれ助けられますようにお祈りします。(Scroggins 由紀)

記事: 消息

— 陳百合子姉、南部 Ethel 姉、南部勝牧師など、主の癒しを必要とされている方々のために、又、旅行をされている方のためにお祈りください。

— 7月2日の説教は“主による憐れみ”と題してマタイによる福音書15章32-38節からでした。主イエスは群衆を癒された後、彼らを空腹で帰らせるのはかわいそうである、といわれ、パンと魚の奇跡を行われました。私たちの必要すべてをご存知であり、憐れみをかけてくださる主イエスに心から感謝し、主と同じように憐れみをお互いにかけてられますように。

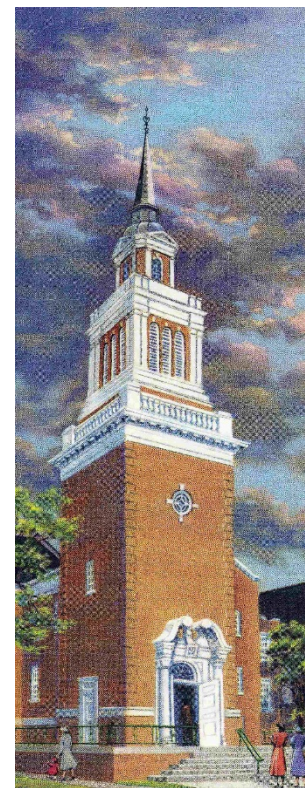
お知らせ

— 本日は武井里花姉が休暇を取られているため、三村祥子姉が礼拝の伴奏をさせていただきます。三村姉に感謝いたします。

— 来週の礼拝は由紀牧師が休暇のため、中村朗牧師がメッセージをさせていただきます。中村師に感謝いたします。どうぞ皆さん、ご出席ください。

今週の聖句：神よ、しかが谷川を慕いあえぐように、わが魂もあなたを慕いあえぐ。(詩篇42篇1節)

発行：2017年7月5日 ノースショアバプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200 Ext. 26



週報

第3631号
2017年 7月9日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org